

令和3年3月17日

## 知財ビジネスマッチング事業によるイノベーション創出を加速します！ ～成果事例の紹介と支援体制の強化について～

近畿経済産業局は、大手企業等の開放特許の活用により中小企業の新規事業創出を支援する「知財ビジネスマッチング事業」を実施しており、令和2年度は金融機関との連携を深めることで、商品化事例が3件創出されました。

令和3年度は、イノベーション創出を更に加速するため、「関西・共創の森」の取組の一環として、外部連携に意欲的な中小・ベンチャー企業に対し、マッチングにとどまらない総合的な支援を行います。

### 1. 知財ビジネスマッチングの背景

大手企業では年間数百件程度の特許が新たに出願されています。一方、特許を取得したものの自社の事業規模と合わなかった、事業分野を見直した等の理由で、活用されことなく眠っている特許も多く存在します。しかし、このように眠っている特許であっても、中小・ベンチャー企業が活用することで、魅力のある事業になり得ることがあります。

そこで、当局では、大企業等の「開放特許」(※1)の活用により中小・ベンチャー企業の新規事業の創出を支援する「知財ビジネスマッチング事業」を2011年度から継続実施し、金融機関や自治体、産業支援機関等と連携して取り組んでいます。今年度は、金融機関からの積極的な企業紹介をきっかけに3件の商品化事例が生まれました。

### 2. 今年度の成果事例の紹介

#### 【事例1】

株式会社京風庵大むら

所在地：京都府山科区北花山中道町 35-20

TEL：075-581-5550／FAX：075-501-0797

URL：<https://www.kyofuan.com/>



近畿経済産業局は京都信用金庫を通じて、金属素材に抗菌加工を施す技術を検索している本企業の相談を受け、大手企業の開放特許をマッチング。新製品は扇子の親骨に金属素材を用い、株式会社神戸製鋼所（兵庫県神戸市）

が開発したニッケル系の高機能抗菌めっき技術「KENIFINE™」を活用し抗菌加工を施した。伝統的工芸品である京扇子と現代の抗菌技術を組み合わせることで、古の防具鉄扇が、涼をとる扇子としてだけではない現代の防具的要素を備えた実用道具として誕生。本年3月10日（水）から、銀座三越にて販売を開始しました。

### 【事例2】

SFV生産農場（建石農園）

所在地：福井県大野市五条方 9-50

TEL:0779-64-1276／FAX:0779-64-1501

URL：<https://minna-no-ice.jp/>



近畿経済産業局が令和元年度に福邦銀行と共催した個別マッチング会での本企業とアークレイ株式会社（京都府京都市）の面談が端緒。健康意識の高い女性層をターゲットに定め、アークレイ社の老化を抑制する機能性食品素材を活用することで里芋アイスの付加価値向上を図りました。

卵、牛乳の代わりに里芋を利用したなめらかな口溶けのアイスで、アレルギー特定原材料7品目（牛乳、卵、小麦、そば、落花生、エビ、カニ）を不使用。「プレミアムハーブ味」と銘打って、本年夏頃を目処に道の駅などを中心に販売開始予定。

### 【事例3】

株式会社鞆工房山本

所在地：奈良県橿原市南浦町 899

TEL:0744-23-0789／FAX:0744-23-0779

URL：<https://www.kabankobo.com/>

本企業は昭和 24 年創業のランドセルメーカー。ランドセルの機能性向上に取り組んでいたところ、近畿経済産業局が奈良中央信用金庫とともに訪問し、大阪府の中小企業である有限会社ガルボプランニング（大阪府大阪市）の「ショルダーベルト部の荷重分散機能」に係る技術を紹介し、マッチング。

ガルボプランニングとの面談を経て、試作品製造を決め、現在、肩ベルトを取り付ける金具の改良に取り組んでおり、早ければ令和5年春入学用の商品ラインナップに加える予定。

### 3. 今後の展開

本事業では、開放特許を活用したビジネスプランを想定して中小・ベンチャー企業に提案するという方法によりマッチングを図っているため、効率的なマッチングには

中小・ベンチャー企業をよく知る地域金融機関の協力を得ることも有効な手段です。そのため、現在、当局では、福邦銀行、京都信用金庫、奈良中央信用金庫、尼崎信用金庫等と協力体制を構築して事業を進めているところですが、今後、金融機関との連携をさらに強化することにより、より効率的なマッチングを図ってまいります。また、「関西・共創の森(※2)」の取組においても参画機関との連携を深め、外部連携による新事業創出に意欲的な企業の発掘や、マッチング機会の拡大によりマッチングの効率化を図るとともに、マッチング後のフォローアップ(事業化、販路開拓、海外展開支援等)も含めて、総合的な支援により中小・ベンチャー企業のイノベーション創出を促進してまいります。

(※1)「開放特許」とは

特許の権利者が第三者に開放する意思のある特許のことを指します。権利者とライセンス契約を結ぶことで、その特許の技術を自社の製品開発に用いることができます。

(※2)「関西・共創の森」とは

関西におけるイノベーション創出を支援する組織。参画機関は、INPIT 近畿統括本部、産総研関西センター、NITE、NEDO 関西支部、JETRO 大阪本部、中小機構近畿本部、JST 大阪オフィス、近畿経済産業局の8機関。国の支援機関の強みを持ち寄り、社会課題の解決を目指す企業や大学・研究機関等の技術シーズ・ニーズの発掘から、研究開発、実用化・事業化までを切れ目なく支援します。

(本発表資料のお問い合わせ先)

**【知財ビジネスマッチング事業について】**

近畿経済産業局 知的財産室長 横山

担当者:岡村、米田

電話:06-6966-6016

FAX :06-6966-6064

**【関西・共創の森について】**

近畿経済産業局 地域経済部イノベーション推進室長 阿瀬

担当者:伊藤、中西

電話:06-6966-6013

FAX :06-6966-6077